

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮はアクアライン以北の千葉県側を中心に発生し、千葉北部地区のノリ漁場周辺ではpH8.5～8.6に上昇、透明度は2m前後に低下し、水色も褐色に呈しています。
- 優占種は、ケイ藻のスケルトネマやキートケロスで、タラシオシラも多くみられています。
- のり色落ちの原因となるユーカンピアも僅かにみられます。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも前回(3/3)よりさらに少なくなり、内湾及び大貫ベタ流し漁場周辺ではリン(D I P)が著しく減少しています。また、大貫ベタ流し漁場周辺では窒素(D I N)も減少しています。
- このように、ノリの色調低下が大きく懸念されるレベルまで低下していますので、注意が必要です。

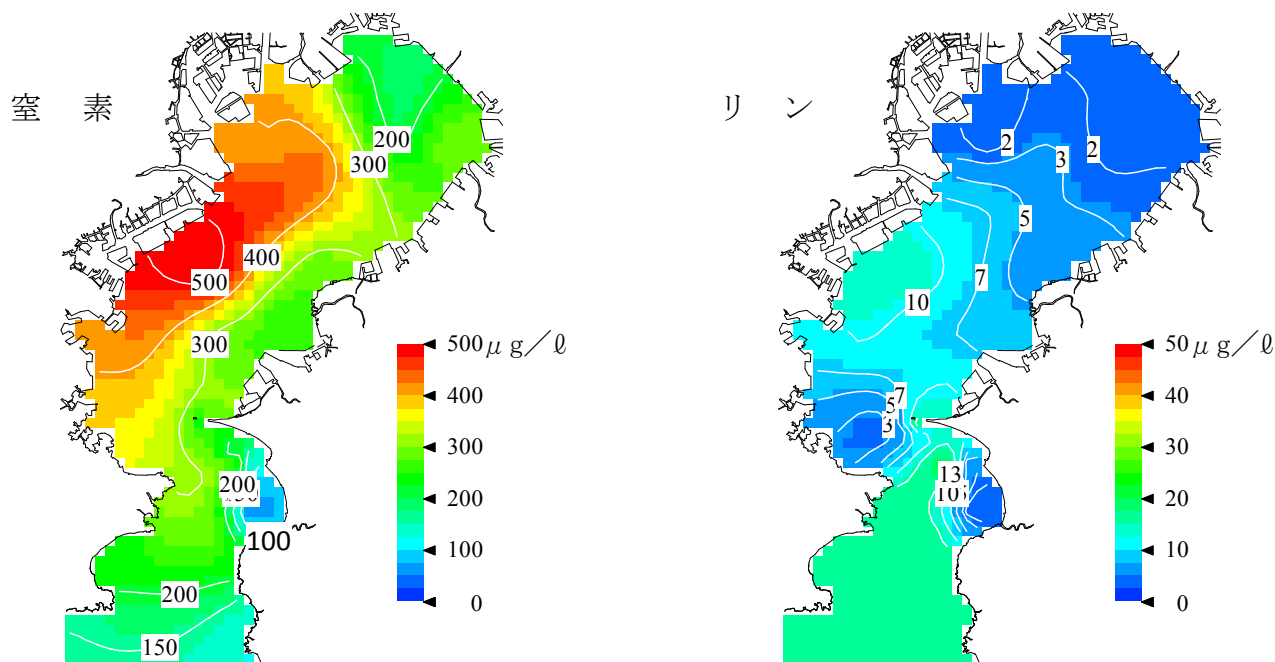


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 3月16-17日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html